

平成22年度（2010年度）研究推進計画

西宮市立〇〇小学校

1. 研究主題

(1) 研究テーマ

学びを創るあなたとわたし
—伝え合う力の育成をめざして—

(2) 研究テーマ設定の理由

本校の教育目標である「人権尊重の精神に立ち、未来からの呼びかけにも応え得る創造性及び情操豊かな子供を育てる」を目指していくために、「学びを創るあなたとわたし —伝え合う力の育成をめざして」という研究テーマのもとに、学びある授業を創造し、伝え合う力について視点をおき、授業研究を行ってきた。

研究を推進する中で、本校の校是である「友愛」あなた（友 You）とわたし（愛 I）の学びの中でみられる対話の重要性を再確認することができた。友だちの意見を聞くことによって、子どもは考えを思いつく。自分の考えを相手に伝える。返答がかえってきて、自分の考えをさらに吟味をし、考えが深まる。そして、相手にわかりやすく伝えようとする。あなたとわたしで創る学びは、子どもに伝える力を育成するとともに、子どもに考えを持たせ、深めさせることを検証することができた。これは、今回の学習指導要領の改訂により打ち出された「知識・技能を活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力を育成し、言語活動を充実させる学習習慣を確立するよう配慮する」につながるものであると考える。

そこで、研究のテーマを引き続き、「学びを創るあなたとわたし —伝え合う力の育成をめざして—」と設定する。学びある授業を通して、伝え合う力、表現力を育成していく。さらに、学びある授業を対話による協働的思考をともなう授業ととらえ、授業の中での子どもの反応から、思考力、判断力についての理解を深めていきたい。

また、本年度も引き続き大阪大学文学研究科臨床哲学の本間直樹准教授に指導を受ける。総合的な学習や教科等に対話を取り入れた単元開発、授業の子どもの反応から読み取れる思考力等について示唆を受けたい。

最後に本年度は、“熱とつながり”をもって研究を推進していく。研究授業と事後の授業協議会で、多くの知見をお互いに共有し、新たな知見を得る。授業を省察する力を養い、日々の授業構想を変革していくことを一人一人の教師が“熱”を持って取り組んでいく。また、校是である「友愛」の精神にもとづき、あなたとわたしで対話する学びは、教師と教師、教師と子どもの“つながり”を深め、さらに、保護者、地域の方との関係を構築していくものとしたい。

2. 研究内容

(1) 中核となる教科・領域

国語科 総合的な学習（英語活動）
その他の教科・領域

(2) 具体的研究内容

- ①研究テーマにせまる授業を創造する。
- ②外部からの研究者とともに、単元開発する。
- ③研究授業を通して、具体的な子どもの様子から、子どもの考えの育ちについての理解を深める。
- ④地域の方とのつながり、地域の施設を活かした単元の開発をする。

(3) 具体的検証方法

- ・研究全体会で、対話ある学びの単元開発、協働的思考について外部の研究者から指導助言を受ける。
- ・研究授業、授業協議会で子どもの学ぶ様子、反応から協議を通して検証する。
- ・単元開発を進めながら、各クラスの子どもの様子を交流して子どもの考えがどのようにつくられているのかを検証する。

3. 研究計画

(1) 年次計画

・1年次（2010年度）

学年研を中心にして、外部の研究者との指導を受け、対話ある学びを取り入れた単元開発をする。単元開発した授業を通して、対話によってどのような力が子どもに育つかについて検証する。対話と思考力の関係について研修をする。

・2年次（2011年度）

対話によって育つ力や思考力について、学年の発達段階にてらして検討する。研究テーマにせまる効果的な単元開発を行い、研究授業を通して検証する

・3年次（2012年度）

対話によって育つ力や思考力の学年のつながりを考えた単元の開発をし、カリキュラムをまとめる。研究のまとめを行う。

(2) 本年度の計画

- | | |
|-----|------------------------|
| 1学期 | ・外部講師を招いての研修会 |
| 2学期 | ・全校研究授業と授業協議会 |
| 3学期 | ・全校研究授業と授業協議会 |
| | ・今年度の研究評価と来年度の方向について検討 |
| | ・研究紀要の作成 |

4. 研究発表の予定 研究紀要による紙上発表

5. 研究指導助言者 市教委指導主事
本間 直樹（大阪大学文学研究科臨床哲学准教授）

6. 定例研究日 学年・専科団研究会 毎週金曜日
研究推進部会 毎月1回
全校研究会